

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	今後も身体拘束について細かく研修を行っていくことが望ましい。	身体拘束をしないケアについて、職場内研修を開催し、正しく身体拘束をしないケアについて学ぶと共に、日々身体拘束は行っていないが、今後も身体拘束について細かく研修を行っていく。	身体拘束については、いろいろな事例の中から問題点を見つけながら、身体拘束が何故いけないのかをごく普通に理解できるようにする。	6ヶ月
2	7	今後も研修を継続し、日常業務の中で職員同士で注意を促し、未然に防止していく取り組みが望まれる。	虐待防止について、具体的な事例を踏まえ話し合いを行い、周知・防止に取り組んでいるが、今後も研修を継続し、日常業務の中で職員同士で注意を促し、未然に防止していく取り組んでいく。	今後も言葉・無視・暴力などいろいろな虐待防止について研修を継続していくと共に、日常業務の中で職員同士で注意を促す体制維持を続けていく。	6ヶ月
3	16	現在の基本的な方針の見直しを行い、統一した方針でケアを実施していく為に利用者・家族・職員共に共通の意識で取り組むことができるマニュアルを作成していくことが望まれる。急性期・重度化・終末期ケアの見直しは、他の利用者への影響も考え全職員で話し合いを持ち第三者の意見も聴きながら検討していくことが望ましい。	急性期・重度化・終末期ケアの見直しについて、他の利用者への影響も考え全職員で話し合いを持ち第三者の意見及び家族の意見希望も聴きながら検討していく。	相生市からの集団指導を受け、全職員で考え今後の事業所方針を一応固めながらも、「看取り指針」を作成した。今後、家族との話し合いを重ねながら方針を決定していく。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。